



ヤマハコ



自然保護協会の これからの望むこと

金上由紀

自然保護協会に入会したのは利己的な理由からでした。北見に住んでいたその頃、子と共に野鳥や野の花の名を知りたくて手当り次第に教えを請うて歩いていました。休日には小清水や根室まででかけて行きました。たまたま知床博物館の中川さんから養老牛での研修会の話を知り、夫に三人の子を預け勇んででかけていきました。ところがそれは『自然観察指導員養成講座』で私のような無知の者が行くところではありませんでした。でも参加者は魅力的な人々でこの仲間に入れてもらえば私の知りたい知識や情報が得られるかもしれないと思いました。そこで自然保護協会に入会しました。もう十五年も前のことです。

協会は私の考えていたのとは違っていました。会報や季刊誌もむずかしくて読みにくくほとんど積んであるだけです。でもそこで知りあった人々からはたくさんのお話を教えていただきました。この二、三年冬の



彫刻 製作中の金上由紀さん

連続講座が始まり幽霊会員状態だった私も楽しみに参加させていたでいます。この五月にははじめて美林ツアーにでかけました。噂通りの素晴らしいツアーでした。特に会長長の解説はわかりやすく興味深いものでした。

協会の今後に私の望むことは、私のように勉強が嫌いで出来の悪かった者にも理解しやすい取り組みやすい情報の流し方を工夫して欲しいということ。特に冬の連続講座の充実と深まりを願っています。やさしい言葉で自然保護が語れる会員を育てて欲しいのです。甘えといわれるかもしれませんが…。